

府県向

飼料用ムギ類の利用方法と
品種紹介

はじめに

飼料用ムギ類はイタリアンライグラスに次いで利用面積が大きい冬作飼料作物です。エンバク、ライムギ、オオムギ、ライコムギなどがありますが、草種間で特性が異なる上、それぞれの品種間でも早晩性、耐病性などに差があります。飼料用ムギ類を利用する上では、これらの違いを良く把握し、特徴をいかすことが重要になります。今回、各ムギ類の特性と利用方法についてご紹介致します。

1 草種別の特性について

エンバク、ライムギ、オオムギ各草種の特性を表1に示します。

1) エンバクの特性

ムギ類の中では耐湿性、土壌酸性への適応性が高く、耐寒性は劣りますが、暖地での適応性が高いことから広く利用されており、飼料用ムギ類の中では最も利用面積が大きい作物です。出穂後の茎の硬化が遅く、栄養価が高い特徴があり、青刈り利用や

表1 ムギ類の種別特性

作物名	耐湿性	耐倒伏性	耐酸性	耐寒性	熟期	嗜好性	子実割合
エンバク	△	△	△～○	×～○	○～×	△	△
ライムギ	×	×	△～○	○	△～×	×	×
オオムギ	×	△	×	×～○	○	○	○
コムギ	△	○	△	○	×	△	○

注) ○：強，早，高 ×：弱，遅，低 △：中間，普通

(「最新飼料作物のすべて」より抜粋)

第52巻第5号 (通巻609号)

牧草と園芸／平成16年(2004)9月号 目次

- (府県向) イタリアンライグラス.....表2
- (府県向) 飼料用ムギ類の利用方法と品種紹介 [辻 剛宏]1
- 市街地と共存できる酪農を実現しています
～山口県防府市 池田牧場～ [西 春彦]6
- 「名人」のチカラ第47回茨城県肉用牛共進会の成績— [宮地 徳正] ...9
- 当社が展開するウェット飼料“発酵TMR”のご紹介 [岡田 卓士] ...11
- (府県向) 秋播きムギ類ラインナップ.....表3
- チモシー新品種!!ホライズン(SBT9502) [早生]表4



収穫間近のサイレージ用
F1とうもろこし(長沼町)

ホールクロップサイレージ、乾草利用などの用途に適しています。エンバクにはさまざまな品種があり、早晚性、耐倒伏性、耐病性など品種による特性の差が大きいため、栽培時期、目的などによって利用する品種を選定してください。

2) ライムギの特性

ライムギは寒さに強く、低温での伸長性に優れ、高冷地、寒冷地でも栽培、収量の確保が可能であり、東北、関東を中心に栽培されています。土壌酸性への適応性が高く、乾燥地にも向きますが、長期間積雪がある地域では、雪腐病に抵抗性のある品種を利用してください。また、出穂期以降は茎葉が固くなるのが早く、消化率や嗜好性が低下しやすいので、注意が必要です。

3) オオムギの特性

耐湿性、耐酸性ではエンバク、ライムギに劣りますが、エンバクより出穂が早く播種適期が長いこと、子実割合が高く、栄養価の高い飼料が得られることが利点です。ホールクロップサイレージの他、含水率が低く乾きやすいオオムギの特徴をいかして、乾草でも利用されています。酸性土壌では石灰を多めに投入し、排水性のよい適地での利用に努めてください。

2 ムギ類の栽培時期について

ムギ類の栽培時期は夏作飼料作物であるトウモロコシの作型にあわせる形で決められるのが一般的です。翌春利用の「秋播き栽培」の利用が多い状況ですが、年内利用の「夏播き栽培」や初夏利用の「春播き栽培」などにも有利な点があります。各利用時期に適した特性をもつ品種選定がポイントになります。

1) 夏播き栽培（年内に利用）

播種時期を8月下旬から9月とし、12月に収穫する作型です。暖地を中心に普及しており、低温期での刈り取りで高品質の飼料生産ができること、トウモロコシの早播きが可能で安定生産につながることで、冬期間に堆肥投入などの作業が余裕を持つて組めることなどの利点があります。

この時期には、春播き性が高く、出穂の早い品種を選定します。エンバクであれば夏播きでも出穂が安定し播種限界の遅い極早生エンバク「スーパーハヤテ隼」、冠さび病に強い「サビツヨシ」が適しますし、オオムギ「ワセドリ2条」もお勧めです。

一方、上記の品種はイタリアンライグラスとの混播栽培にも適しており、年内にムギ類を、翌春にイ

タリアンライグラスが収穫できます。

2) 秋播き栽培（翌春に利用）

10～11月にかけて播種し、5月頃に収穫する作型です。標準栽培とも呼ばれるように、ムギの代表的な利用時期であり、乾物収量も大きくなります。品種によって差はありますが、ムギ類はイタリアンライグラスと比較すると耐寒性に優れ、播種限界が遅く春の生育も早いことなどから、利用できる地域が広く、トウモロコシの作型にもあわせやすいという利点があります。利用にあたっては、耐寒性、耐雪性などに考慮して適地での品種選定を行い、越冬性を考えて適期の播種に努めてください。

この時期に適する品種としては、オオムギ「ワセドリ2条」の他、エンバクであれば収量性が高く各種特性に優れる中生の「ニューオールマイティー」、乾草・ロールベール利用に向く「ヘイオーツ」がお勧めです。また、寒冷地では極早生ライムギ「春一番」を、特に東北地方など積雪期間が長い地域では晩生ライムギ「春香」の利用をお勧めします。

3) 春播き栽培（初夏に利用）

3月に播種、5月～6月にかけて収穫する作型です。ソルガムや晩播きのトウモロコシの前作として利用されることが多く、その場合は短期の利用で収穫が可能な品種が求められます。夏播き栽培と同様に、出穂が早い「スーパーハヤテ隼」、「ワセドリ2条」がお勧めです。

3 当社取り扱いムギ類の品種特性について

1) エンバク

【スーパーハヤテ「隼」】（写真1）

流通しているエンバクの中で最も出穂が早く、夏播きでの出穂が安定している極早生エンバクです。未出穂のエンバクは、水分含量が高いためサイレージの品質は不良になりやすく、また、降霜により倒伏しやすいなど収穫作業に影響しますが、出穂の早いスーパーハヤテ「隼」は他の品種よりも年内出穂する播種期の幅が広く、夏播き栽培に最も適する品種です。草姿は直立型で倒伏に強く、収量性にも優れ、高品質な飼料の安定生産が可能です。

【サビツヨシ】

エンバク共通の重要病害の一つである冠さび病に完全抵抗性を示す極早生品種です（写真2）。冠さび病はエンバクの茎葉に赤橙色の粉が付着する病害で激発すると大幅な減収に至ります。夏播きの場合は10月中旬以降の出穂期前後、秋播きでは5月上旬頃



写真1 極早生エンバク「スーパーハヤテ 隼」

から発生が始まり、特に早い時期の夏播きは多発する危険性が高く注意が必要です。サビツヨシは冠さび病が発生しやすい夏播きや、本病の激発地域で安定した生育と収量の確保が可能な品種です。特に冠さび病が発生しやすい8月から9月上旬の播種にお勧めです。

【ニューオールマイティー】(写真3)

従来の「前進」に比べて耐倒伏性、耐病性、収量性に優れた中生エンバクです。草丈は1.5m近くになり直立型の草姿を持ち、広葉、太茎でボリューム感に非常に優れた品種です。冠さび病、レッドリーフ病にも強く、安心して栽培ができます。また、エンバクは出穂前の刈り取りにより再生が期待できますが、ニューオールマイティーは刈り取り後の再生も旺盛で、青刈り利用にも向きます。秋播き栽培に最適な品種です。

【ハイオーツ】(写真4)

細葉、細茎で乾き易く、乾草・ロールバールの利用に適する早生エンバクです。オオムギに比較すると、耐湿性が強く、土壌の適応範囲が広い点で有利です。



写真2 冠さび病抵抗性 極早生エンバク「サビツヨシ」
(左：他社品種 右：サビツヨシ)



写真3 中生エンバク「ニューオールマイティー」

2) ライムギ

【春一番】(写真5)

極早生のライムギで耐寒性、耐雪性に優れ、寒冷地での秋播き栽培に適しています。また、播種が遅れたイタリアンライグラスに少量混播することで、冬枯れ防止効果も期待できます。細茎で乾燥しやすいので、乾草・ロールベールの利用に適しています。

【春香】

出穂期が春一番より10日程度遅い晩生ライムギです。草丈が130cm程度で分けつが多く、多収が得られます。紅色雪腐病抵抗性が極強であり(写真6)、標高の高い地帯や東北地方をはじめとする積雪2ヵ月以上の豪雪地帯での利用に向きます。

3) オオムギ

【ワセドリ2条】(写真7)

耐倒伏性に優れた極早生の2条オオムギであり、オオムギの重要病害うどんこ病に対して抵抗性を有します。うどんこ病は主に春の多湿・温暖条件下で発生し、罹病したオオムギは葉の表面に白斑を生じ、やがてうどん粉をまいたようになり枯れ上がります。ワセドリ2条は本病発生年でも安定した収量を得ることができます。



写真4 細葉・細茎が特徴 早生エンバク「ハイオーツ」



写真5 極早生ライムギ「春一番」



写真7 極早生オオムギ「ワセドリ2条」



写真6 紅色雪腐病に強い 晩生ライムギ「春香」
(左：他社品種 右：春香)

表2および表3にムギ類の出穂期を取りまとめたので参考にして下さい。

まとめ

今回ご紹介した飼料用ムギ類それぞれの品種特性をいかし、皆様のより良い自給飼料生産に役立てていただければ幸いです。

表2 ムギ類の出穂期一覧

夏播き栽培（年内利用）（8月下旬～9月上旬播種）

草種	品種名	播種量 (kg/10a)	西南暖地						関東地方						主な利用		
			10/中	10/下	11/上	11/中	11/下	12/上	10/下	11/上	11/中	11/下	12/上	12/中	青刈	サイレージ	乾草
エンバク	スーパーハヤテ「隼」	6～8		←●→					←●→						●	●	
オオムギ	ワセドリ2条	8～10		←●→						←●→						●	●

秋播き栽培（翌春利用）（10月下旬～11月中旬）

草種	品種名	播種量 (kg/10a)	西南暖地						関東地方						主な利用		
			3/下	4/上	4/中	4/下	5/上	5/中	4/中	4/下	5/上	5/中	5/下	6/上	青刈	サイレージ	乾草
エンバク	スーパーハヤテ「隼」	6	←●→						←●→						●	●	
	ハイオーツ	4～6			←●→					←●→						●	●
	ニューオールマイティ	6～8					←●→			←●→					●	●	
ライムギ	春一番	5～8	←●→	3/25前後					←●→							●	●
オオムギ	ワセドリ2条	6～8	←●→	3/10前後					←●→							●	●

春播き栽培（初夏刈り取り）（3月上旬～3月下旬播種）

草種	品種名	播種量 (kg/10a)	西南暖地						関東地方						主な利用		
			5/中	5/下	6/上	6/中	6/下	7/上	5/下	6/上	6/中	6/下	7/上	7/中	青刈	サイレージ	乾草
エンバク	スーパーハヤテ「隼」	8		←●→					←●→						●	●	
	ハイオーツ	6			←●→				←●→							●	●

表3 ライムギ春香の出穂期

地域	播種適期	出穂期				
		4/下	5/上	5/中	5/下	6/上
上信越	9月下旬～10月中旬	←●→				
東北南部	10月中旬～10月下旬		←●→			
東北北部	9月下旬～10月中旬			←●→		